



「みんなでつくる みんなの“安小”」を合い言葉に！

11月20日(金)、「みんなでつくる みんなの“安小”」の実現に向け、「共育座談会」を開催しました。保護者の方12名、地域の方19名、本校教員19名、三者が均等にA～Hの8つのグループに分かれ、橋本市家庭教育支援チーム「ヘスティア」のメンバー3名の進行のもと、まずは打ち解けた雰囲気づくりのためのアイスブレイクとして、「黄色い食べ物を思いつく限り書き出すというワーク」を行いました。このワークをとおし、人それぞれに感じ方や考えに違のあることを改めて感じるとともに、新しい気づきのあった方もいらっしゃったようです。

その後、「子育ての現状と課題」について話し合い、共通理解を図った上で、「みんなの“安小”」を実現するため、「何ができるか」、「やってみたいこと」「できたらいいなと思うこと」などを優先順位も考えながら話し合っていました。当初案内していた「お茶を飲みながら・・・」に関しては、コロナ感染の第三波の状況から取り止めとさせていただきますが、お茶などなくても、皆さん和やかな中にも熱心に語り合ってくださいました。「子供のために」との熱い思いや、前向きなご意見を多数いただきました。大変うれしく、またありがたく思います。ご参加くださった方々の感想などを紹介させていただき、「共育座談会」を共有したいと思います。(文字が多くてすみません。)



◆「できたらいいな、こんなこと！」◆ (各グループで話し合われた意見の概略を紹介します。)

- 見守り隊の方々の立ってくれている場所・顔写真を地図上に落とし込み、子供たちに分かりやすくする。「きしゅう君の家」の場所も。(A)
- 子供との会話を大切にし、それぞれの役割を果たしながら、できることから少しずつ交流できる機会を増やしていく。(B)
- 子供がホッとできる居場所、また、保護者の皆さんが集えるカフェ的な居場所を学校内に設ける。また、世代間交流を促す方法の一つとして、運動会種目に旧「桃山町音頭」を復活させる。移動図書館(車)があればいいのにな。(C)
- 放課後の時間を体験活動の充実のために活用する。(お料理教室など)(D)
- 学校・家庭・地域が足並みを揃え、常日頃からあいさつの大切さを啓発し、行動する。その一環として、「地域一斉あいさつの日」などの取組を実施する。(E)
- 朝の運動の充実を。また、地域の方を招いての昔遊びや運動機会の充実を。(F)
- 学校・家庭・地域が一体となった体験活動の機会を企画し、実施する。(G)
- 子供にとって楽しい行事や地域のお祭りを企画し、実施する。(H)

◆ 参加してくださった方々から心強いメッセージをいただきました！ (一部抜粋・順不同)

- 先生や地域の方々を交え、いろんなことを楽しく話ができよかったです。
- いろんなことが話せる良い機会になりました。また、機会があれば参加したいと思います。
- 楽しく話し合いをさせていただきました。
- いろんな意見を聞くことができ、平凡な日常を送っている私にとってはとても有意義な時間でした。
- 楽しい時間をありがとうございました。
- 教職員だけでなく、保護者や地域の皆さんで子供たちや地域のことを考える素晴らしい機会だったと思います。
- 本音でトークができてよかったです。また、機会があれば参加したいです！
- いろいろな話を聞けて、凝り固まった頭がほぐれました。ありがとうございました。
- 参加するまでは、「どんな雰囲気になるのかな」と少し不安もありましたが、皆さんと有意義な時間を共有することができ、参加してよかったです。先生や地域の皆さんが子供たちのためにと、愛情いっぱい考えてくださっていることが分かりとてもうれしく感じました。
- 定期的に今日のような会があるといいのになと思います！

- 子供たちを育てる大人になった今でも、勉強は大切だと気づかされました。皆さんの向かっている方向が一緒なのになかなか本音を語るができないことが多い中、よい機会を与えていただきありがとうございます。 ○ これからも子供たちのためにもっと頑張ります！
- いろいろと勉強になりました。子供たちのことをしっかりと考えていきたいと思えます。
- それぞれの立場から子供たちに対する思いが聞けてとてもよかったです。勉強になりました。
- いろんな意見が聞けてとてもよかった。子供には未来があります。その未来を明るい住みよい方向に持っていくのが我々大人の役割であるということを再認識しました。こんな機会を得られてよかったです。
- 皆さんの話から自分には思い込みがあるなど感じ、物事を柔軟に考えることが大切だと気づきました。また、お互いに話せば、それぞれの考えていることが分かるし、様々なことへのよい対処法なども出てきます。大人も子供も今回の座談会のように話をするこそが大切だと思いました。
- グループごとに「黄色い食べ物を出し合うワーク」がとてもよかった。各人の考えの違うことが、言葉としてだけでなく、文字に書き出すことで「ハッ！」としました。この手法はいろんな機会に使えると思いました。 ○ いつでも、協力できることがあれば頑張ります！
- 皆さんの意見を聞き、「なるほどなあ」と思う気づきがたくさんありました。座談会で出た意見が実現できるよう、協力していきたいと思えます。
- 地域住民と共に子育て活動をするのは大いに賛成ですが、そのことが教職員の方々の負担になるのであれば本末転倒です。そうならないように協力していきたいと思えます。
- たくさんの意見が聞けたのでとてもよかったです。地域の中にある学校を地域で守り育てていきたいと思えます！
- 学校や子供の課題や良いところを知ることができてよかったです。子供たちの生命を守る、安全ということについて、自分なりにもう少し考えてみたいと思えます。
- これからの安楽川小学校がどんなふうに変革していくのかすごく楽しみだと感じました。今までは傍観者の目線でしたが、少しでも力になれるなら、どんどん子供や学校に関わっていききたいと思えます。
- 実現するには時間のかかることもありますが、前を向いてベクトル(方向性)を合わせていきましょう！
- 地域の方、学校、保護者の方と一緒に話することで、様々な方向からの意見が聞けたのがよかったです。他校の取組も是非まねてみたいです。
- たくさんの方が参加されいたので、協力してくれるといいですね。自分もできることは、しっかりとさせてもらいます。子供たちの連帯感を高めるための取組が大事だと思います。竜門山が無理なら、百合山からでもいいので始めましょう！

◆ **楽しく、にこやかに、それでいて真剣に、子供のことを考えました！**



次回に乞うご期待。多くの方の参加をお待ちしています！